2024年　12月　177号

JSエコニュース

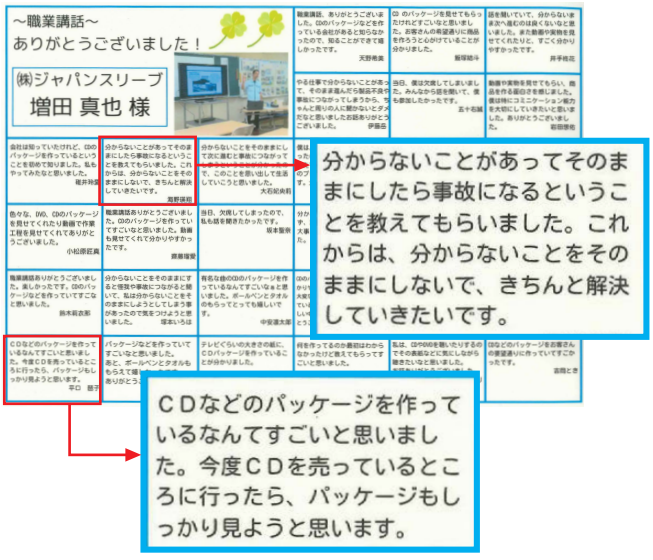
発行:JS環境委員会

小学生　職業講話

この度、島田市立大津小学校より職業講話の講師として招かれました。6年生30名を対象とした授業で、講話のテーマとしては当社の業務内容や日常業務の様子、また仕事に対する情熱とやりがいなどについてです。

授業では、CDやDVDパッケージの製造工程の説明や品質管理の重要性などを伝えました。仕事をする上で、分からない事をそのままにしたら事故に繋がってしまうので、自分で調べたり、周りの人に聞くなどしてきちんと解決してから作業を進めることを心がけていることや、そうして出来上がった製品を見たときの喜びや達成感なども話をしてきました。

「子供たちは自分の夢に向かう第一歩となる貴重な経験をすることができました」と、担当の先生はお話しくださり、後日、授業を受けた生徒さんらの感想が書かれたパネルを会社に届けていただきました。



環境ラベル

近年様々な環境ラベルを目にすることも多いかと思います。環境ラベルとは、製品やサービスなどが生まれてから廃棄されるまでに、環境への負担軽減にどのように役立つのかを示すマークです。製品や包装、飲食店の看板などに表示されています。「エコマーク」や「PETボトルリサイクル推奨マーク」などの他、外国で導入されているものなどを含めると100を超える種類があります。

環境ラベルは、主に以下の3つのカテゴリーに分類されます。

タイプⅠ　第三者認証 ISO 14024	第三者認証による 事業者の申請に応じて審査→認可
タイプⅡ　自己宣言 ISO 14021	事業者の自己宣言による 第三者による判断不要
タイプⅢ　環境情報表示 ISO 14025	定量的データを表示 合否判断がない

購入者にとっては、環境ラベルを一つの基準に環境に配慮した消費活動ができるのが利点です。一方事業者にとっては、マークを取得することで環境への取り組みをアピールし、消費者に選ばれる製品やサービス作りに役立ちます。

環境省『環境ラベル等データベース』には詳細な情報が記載されています。環境ラベルのついている商品をぜひ探してみて下さい。

環境省『環境ラベル等データベース』
https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/

JS環境委員会短信

今年も残り一か月となりました。何かと忙しい年末です。体調を崩さないようご注意ください。

本社　環境委員会